

一般社団法人 日本建設業連合会 会長 様

謹啓 仲秋の候、貴台におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、この度警察庁では、秋の全国交通安全運動の実施を控えて、「秋の全国交通安全運動を見据えた交通事故分析」を公表いたしました。

今回の分析では、

- 10～12月の高齢歩行者死者数は、1～3月と比較して3割以上多い。
 - ・横断中や薄暮時間帯の死者の増加が顕著。
 - ・横断歩道以外の事故の割合が高く、うち歩行者の約7割に法令違反あり。
- 10～12月の高齢自転車乗用者死者数は、1～3月と比較して4割以上多い。
 - ・薄暮時間帯の増加が顕著で、自転車乗用者の8割以上に法令違反あり。
- 75歳以上運転者による免許人口10万人当たりの死亡事故件数は、75歳未満と比較して約2.4倍。
- 飲酒事故の死亡事故率は、飲酒なしと比較して約8.3倍。
- 後部座席シートベルト非着用時の致死率は着用時と比較して約3.5倍（一般道路）。
- 幼児のチャイルドシート不使用時の致死率は適正使用時と比較して約13.4倍。

等について明らかにしております。

警察といたしましては、これらの分析結果を踏まえ、交通安全教育・広報啓発活動及び指導取締り等の推進に取り組んでまいります。

今回の分析結果を送付いたしますので、今月21日～30日に実施される秋の全国交通安全運動を始めとした諸活動において、是非とも本資料を御活用いただきますようお願い申し上げます。

なお、本分析結果については、警察庁のウェブサイトにも掲載しておりますことを申し添えさせていただきます。

敬具

令和元年9月吉日

警察庁交通局交通企画課長

早川 智之

令和元年秋の全国交通安全運動を見据えた 交通事故分析について

令和元年9月12日
警察庁交通局

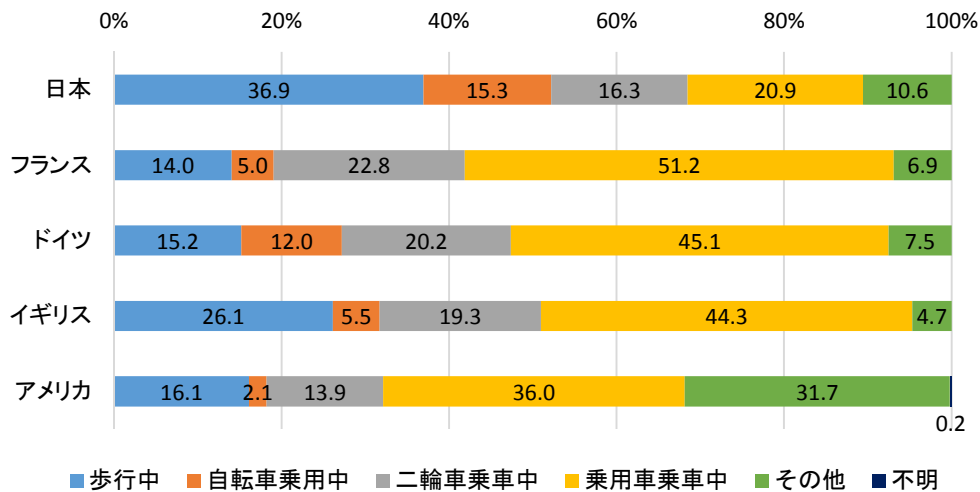
【概況】

- 10～12月の高齢歩行者死者数は、1～3月と比較して3割以上多い。
 - ・横断中や薄暮時間帯の死者の増加が顕著。
 - ・横断歩道以外の事故の割合が高く、うち歩行者の約7割に法令違反あり。
- 10～12月の高齢自転車乗用者死者数は、1～3月と比較して4割以上多い。
 - ・薄暮時間帯の増加が顕著で、自転車乗用者の8割以上に法令違反あり。
- 75歳以上運転者による免許人口当たりの死亡事故件数は、75歳未満と比較して約2.4倍。
- 飲酒事故の死亡事故率は、飲酒なしと比較して約8.3倍。
- 後部座席シートベルト非着用時の致死率は着用時と比較して約3.5倍（一般道路）。
- 幼児のチャイルドシート不使用時の致死率は適正使用時と比較して約13.4倍。

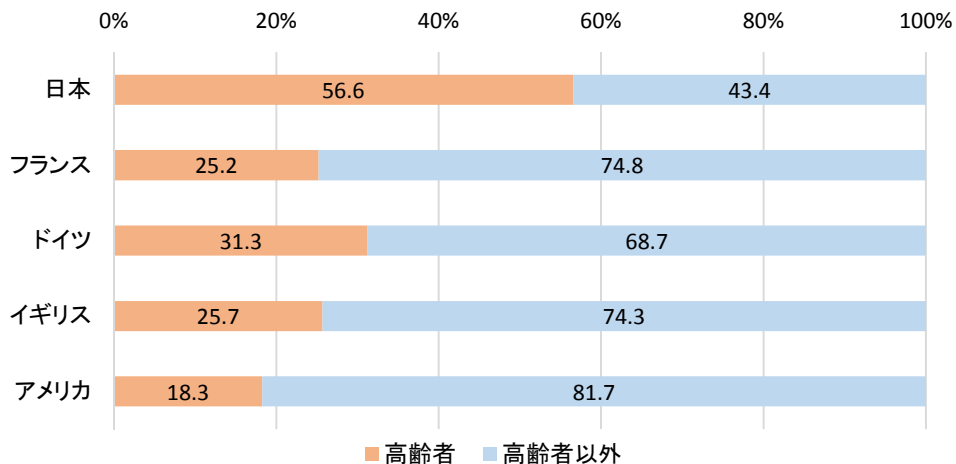
(注)・本資料は、令和元年8月6日までに入手したデータにより作成したものである。
・数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。

1 国別状態別年齢層別交通事故死者構成率・状態別年齢層別交通事故死者構成率

国別状態別30日以内死者数の構成率比較（2017年）

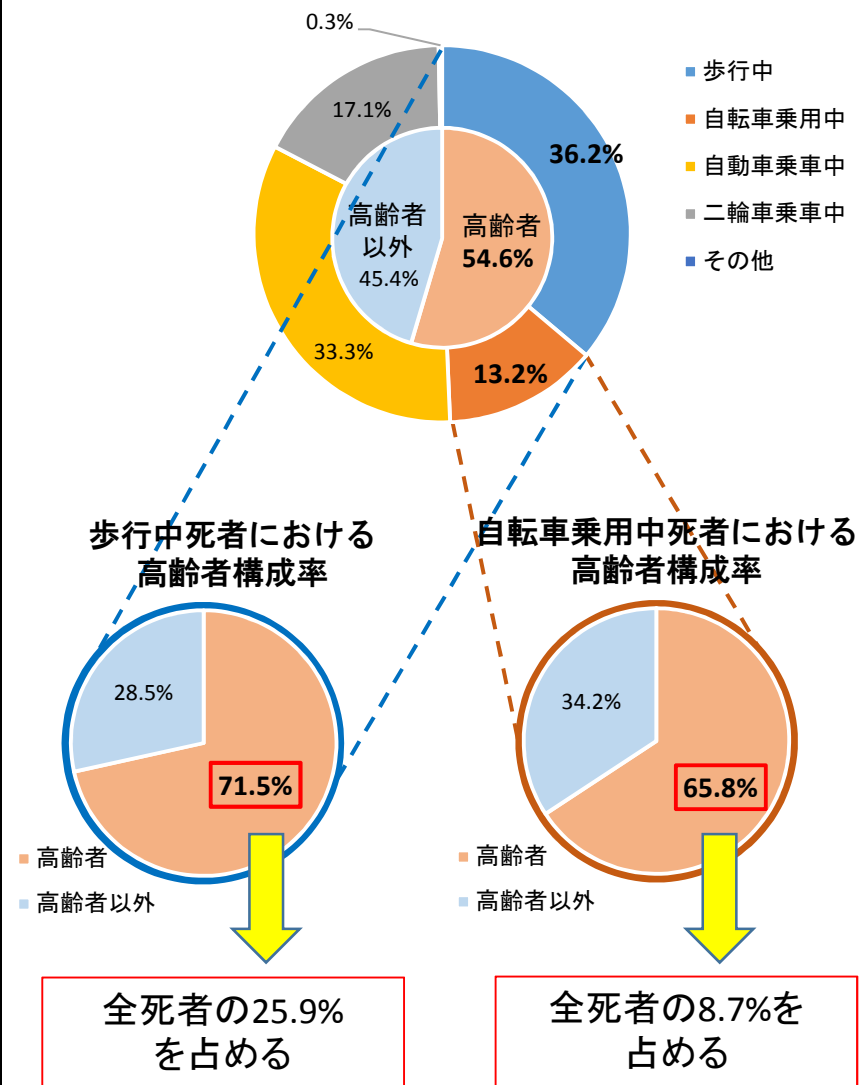


国別年齢層別30日以内死者数の構成率比較（2017年）



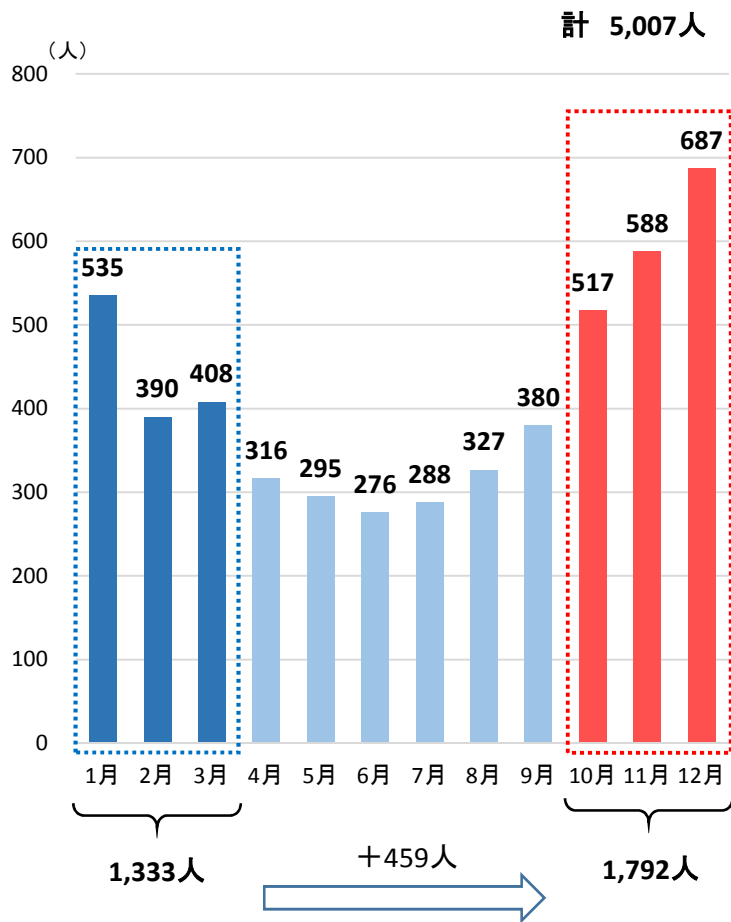
(注) 国際道路交通事故データベース(IRTAD)資料による。

状態別年齢層別交通事故死者構成率
(平成26年～平成30年合計)



2-1 月別・時間帯別の高齢歩行者死者数

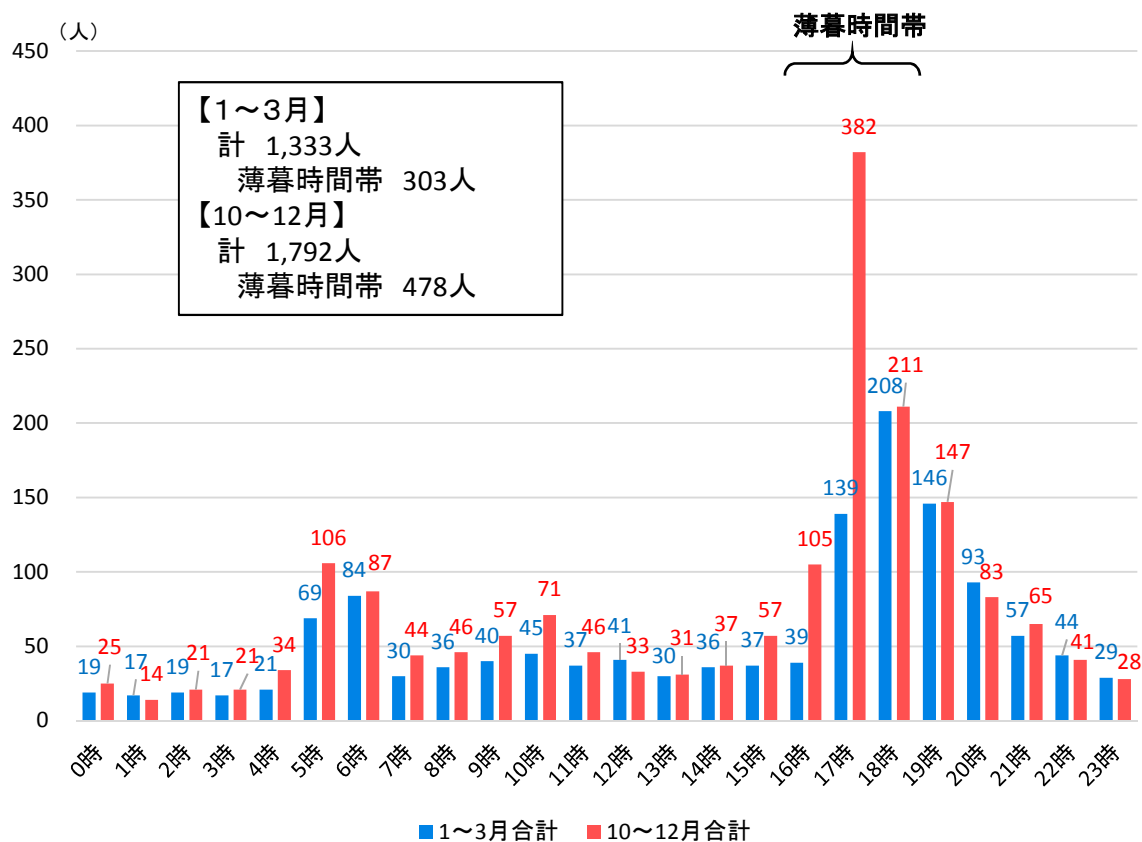
月別の高齢歩行者死者数
(平成26年～平成30年合計)



【うち横断中】

995人 (74.6%) +425人 → 1,420人 (79.2%)

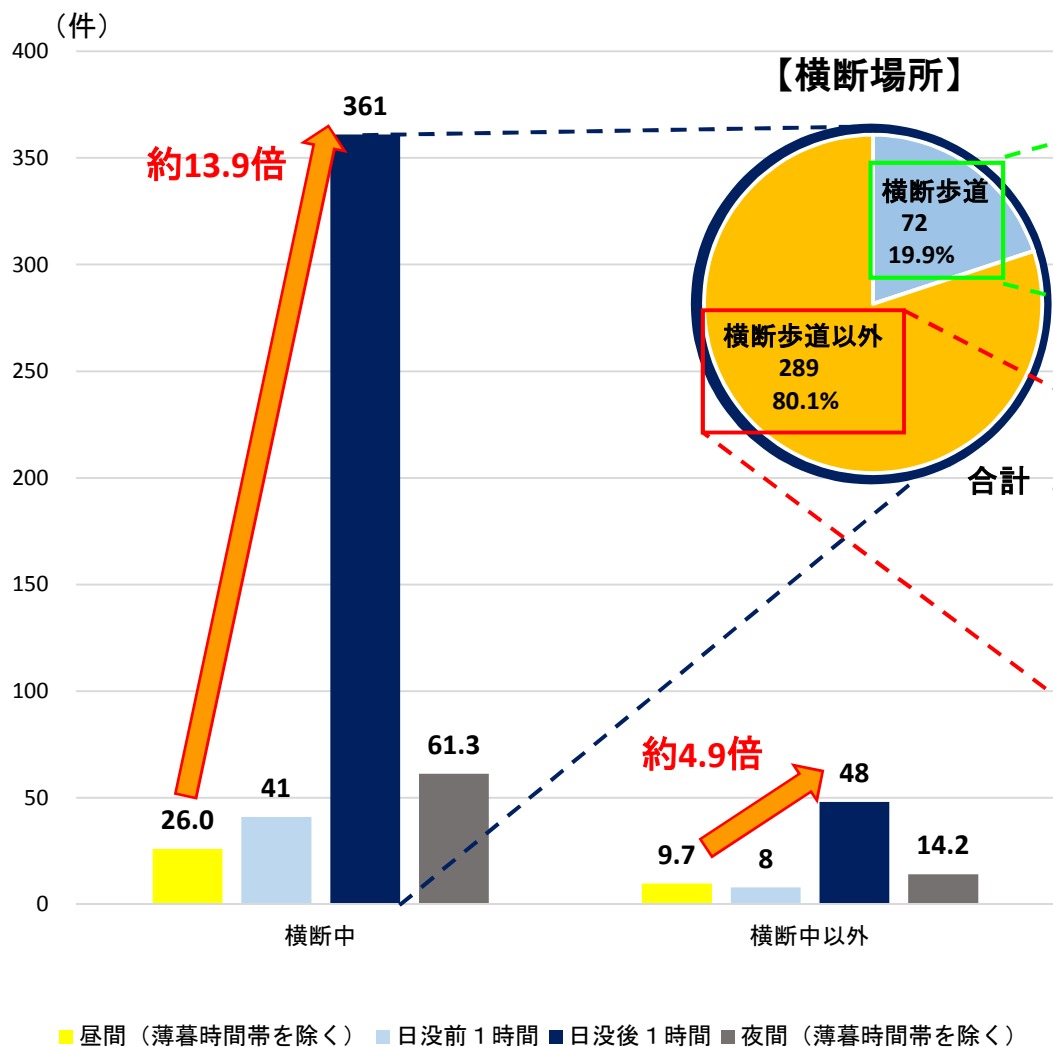
時間帯別の高齢歩行者死者数
(平成26年～平成30年 各年1～3月合計及び10～12月合計)



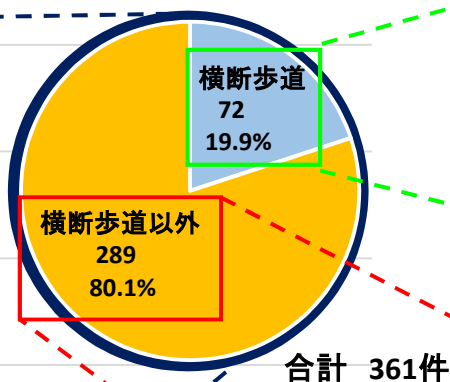
(注) 「薄暮時間帯」とは、日没時刻の前後1時間をいう(日没時刻は、各日の各都道府県の都道府県庁所在地(北海道は各方面本部所在地)の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。)。以下同じ。

2-2 昼夜別自動車対高齢歩行者の死亡事故件数

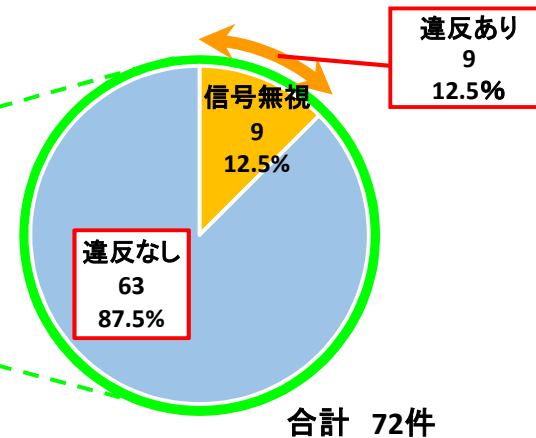
自動車対高齢歩行者死亡事故件数【1時間当たり】
(平成26年～平成30年 各年10～12月合計)



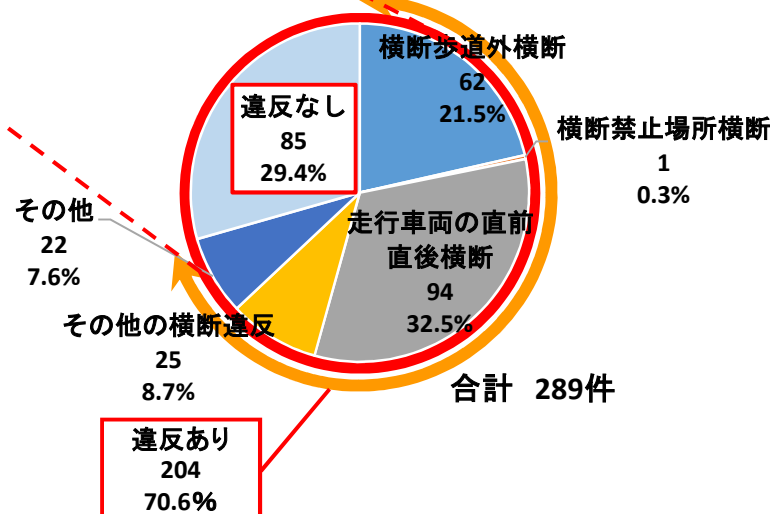
【横断場所】



【横断歩道横断中歩行者の法令違反】

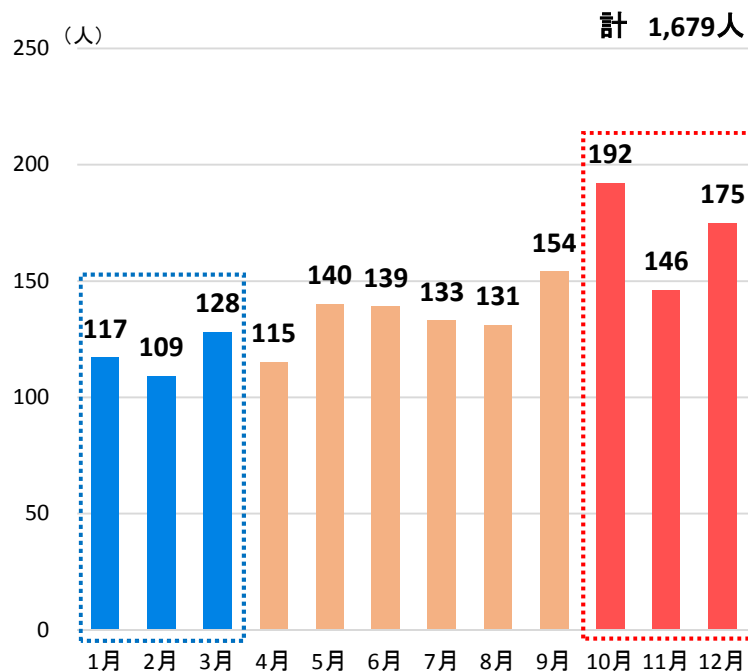


【横断歩道以外横断中歩行者の法令違反】

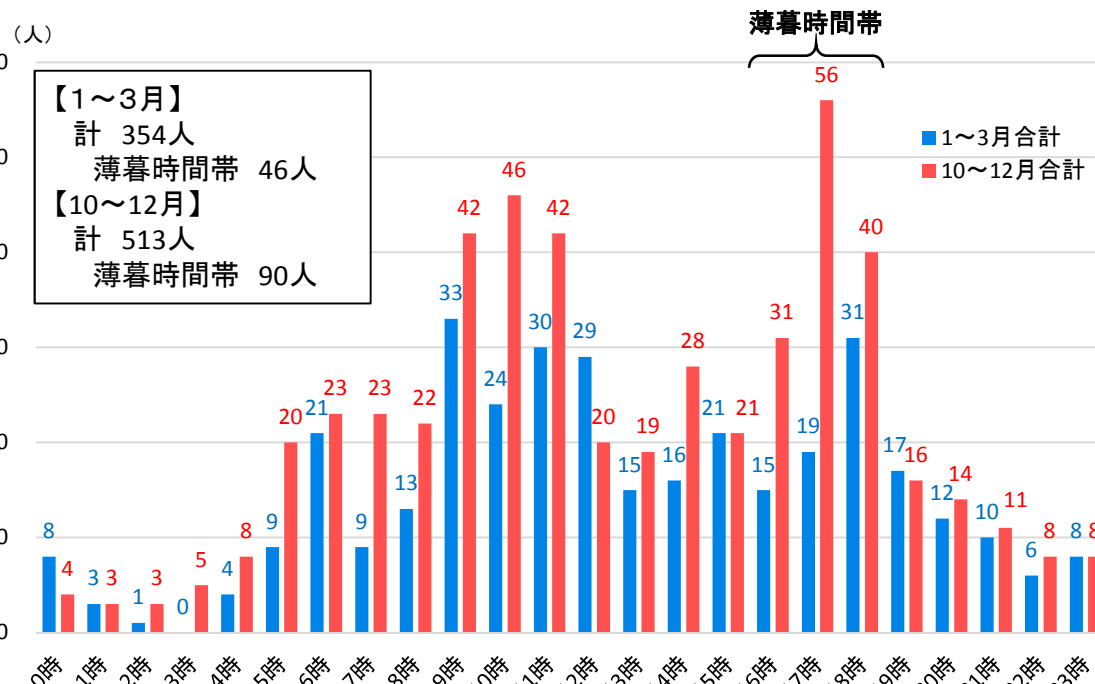


3 月別・時間帯別の高齢自転車乗用者死者数

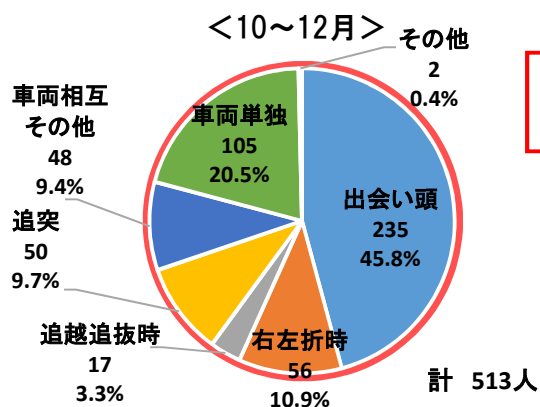
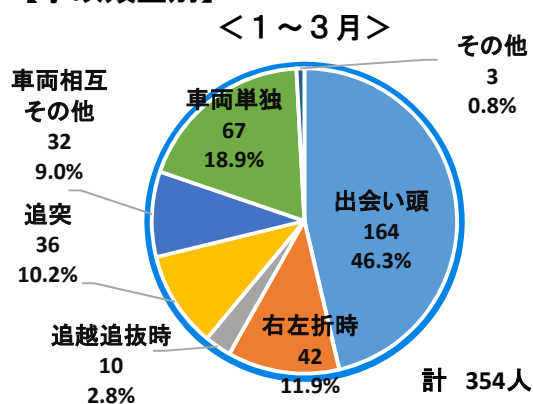
月別の高齢自転車乗用者死者数
(平成26年～平成30年合計)



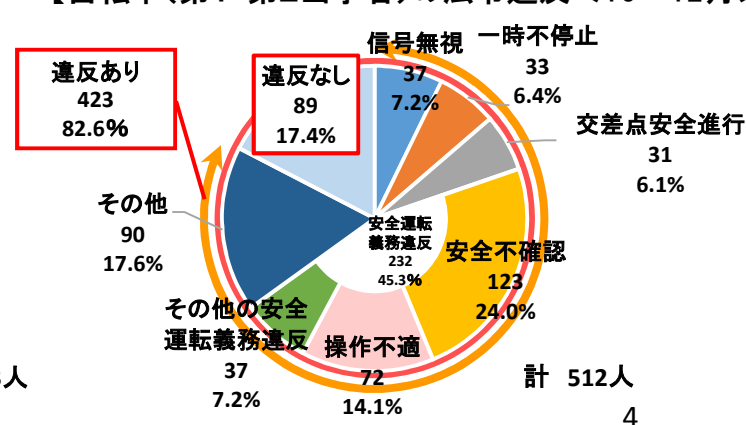
時間帯別の高齢自転車乗用者死者数
(平成26年～平成30年 各年1～3月合計及び10～12月合計)



【事故類型別】

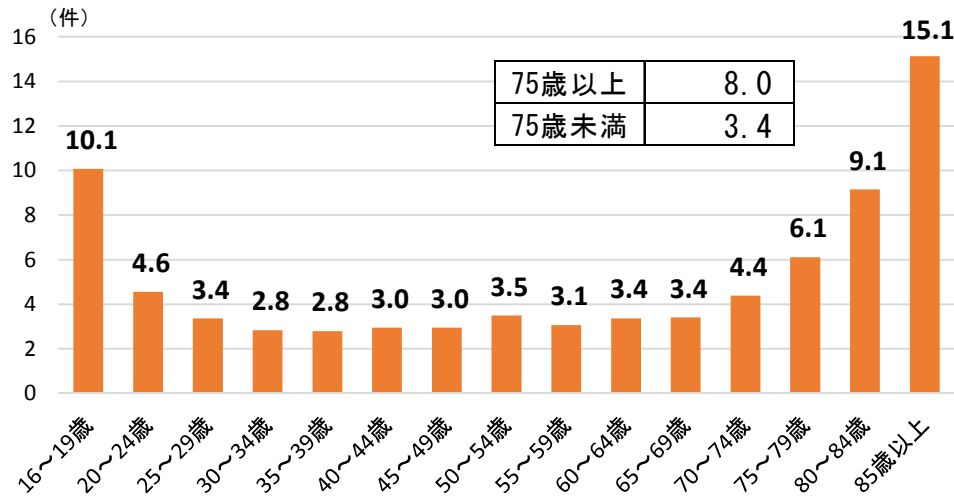


【自転車(第1・第2当事者)の法令違反<10~12月>】



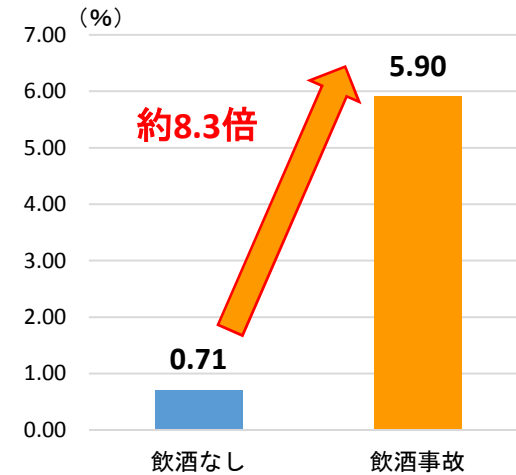
4 年齢層別死亡事故・飲酒事故・シートベルト・チャイルドシートに関する分析

原付以上第1当事者の年齢層別の免許人口10万人当たり死亡事故件数
(平成30年)



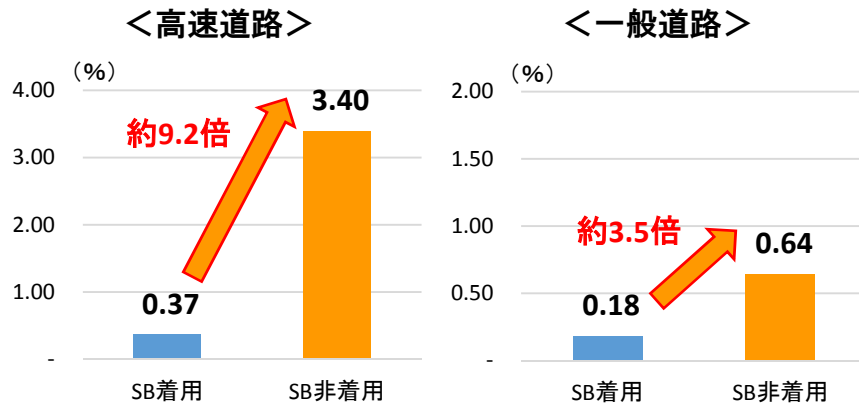
(注)・算出に用いた免許人口は、平成30年12月末現在の値である。
・無免許の件数を除く。

原付以上第1当事者の飲酒有無別死亡事故率比較
(平成30年)



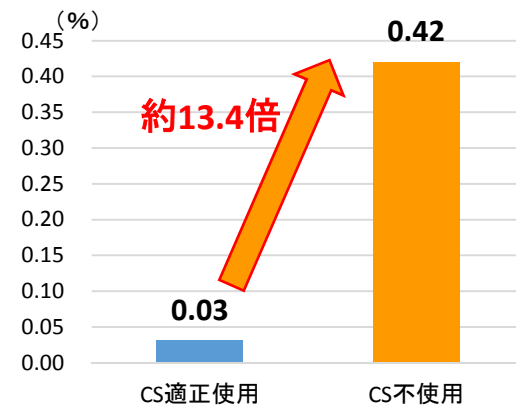
(注)・「死亡事故率」は死傷事故に占める死亡事故の割合をいう。
・調査不能は除外した。

自動車(第1・第2当事者)後部座席同乗者のシートベルト着用・非着用
別の致死率比較(平成30年)



(注)・「後部座席」とは、乗用車、貨物車、特殊車の運転席及び運転席横の座席以外の座席に乗っていた者をいう(バスの座席、貨物車の寝台席を除く)。
・「致死率」は、死傷者に占める死者の割合をいう(着用不明を除く)。

自動車同乗中(6歳未満の幼児)のチャイルドシート
使用有無別致死率比較(平成26年~平成30年合計)



(注)「適正使用」とは、チャイルドシートが車両に適正に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。